

在宅医療セミナー

「症例から学ぶ認知症」

先生方、三浦市の在宅医療の取組みを増やしましょう！

2025年・・・4人に1人が75歳以上という超高齢社会が到来する2025年。当市はすでに突入しています。医師、歯科医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション職、栄養士、介護職員、ケアマネージャー等の皆さんが連携を強めることが求められています。

病院の先生・・・三浦市の有床一般病院は1か所です。在宅療養支援病院としても機能していますが、今後は、病床がいっぱいになり、要介護状態であっても、すぐに、入院することや病院で看取ることが難しくなるでしょう。また、栄養摂取方針によっては介護施設での引受が困難な場合が多くなります。在宅医療・介護連携しながら、医療の役割を果たすことが重要です。

診療所の先生・・・高齢で通院が困難になってくる方が増えてきています。これからますます「かかりつけ医」としての使命が求められる時代になってきています。在宅医療への参入はいかがでしょう！

2025年に向かって、日々求められる機能と、変化していく医療。

在宅や施設での在宅療養の体制を考え、整え、準備していくことが重要です。

高齢化率41.2%の三浦市。在宅医療の現状と課題を共有し、一丸となって取組を進める足がかりと仕組づくりを目指して・・・

日時 令和5年6月16日（金）19時00分～20時00分

会場 マホロバマインズ三浦 13階会議室

対象 医師、歯科医師（診療所・病院勤務医師、その他）、薬剤師、訪問看護師、リハビリテーション専門職、歯科衛生士、管理栄養士、栄養士、社会福祉士、介護職、その他このセミナーを必要とする関係者 ※医師の診療科は問わず。

定員 先着 50名

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入り口での手指消毒やマスク着用の励行ならびに定員数を設定し、最大収容人員60名のお部屋にて座席に余裕を持たせた上での開催を予定しております。手指消毒・マスクの着用等、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

内容とお申し込み方法は
裏面をご覧ください

主催 一般社団法人三浦市医師会
共催 三浦市、神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター
協力 三浦市地域ケア連携会議

プログラム

主催者あいさつ

三浦市医師会 【座長 三浦市医師会理事 藁谷 収】
講演 「症例から学ぶ認知症」
講師 順天堂大学大学院医学研究科客員教授

田平 武 先生

昭和20年7月24日生（島根県出身）

順天堂大学大学院医学研究科認知症診断・予防・治療学 客員教授

日本認知症学会専門医、日本神経学会認定専門医

1970年 九州大学医学部卒、神経内科学専攻

1974年 米国NIH, NINCDS Visiting Fellow

1977年 九州大学医学部神経内科助手、後に講師

1983年 国立精神・神経センター

（現国立精神・神経医療研究センター）神経研究所部長

2001年 国立療養所中部病院 長寿医療研究センター長

2004年 国立長寿医療センター

（現国立長寿医療研究センター）研究所長

2009年 現職

主な所属学会：

日本神経免疫学会（理事長、第7回会長、名誉会員）、国際神経免疫学会（第8回会長）、日本認知症学会（理事、第19回会長、編集委員長、名誉会員）、日本坑加齢医学会（理事、監事、名誉会員）、日本基礎老化学会（理事、第26回会長）、日本神経学会（評議員）、認知症の早期発見、予防・治療研究会（代表世話人）、などを歴任

主な著書：

田平 武 アルツハイマー・ワクチン 中央法規出版、2007

田平 武 アルツハイマー病に克つ 朝日新書、2009

田平 武 かかりつけ医のための認知症診療テキスト—実践と基礎 診断と治療社、2014改訂版、2023（出版準備中）



参加申込 別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXにて下記までお申し込みください。

締切 令和5年6月6日（火）必着

期限前でも、先着50名になり次第締め切ります。



お問い合わせ

三浦市医師会事務局

TEL046-881-2376/FAX046-881-2392

Email : me156301@pastel.ocn.ne.jp